

## 忠実さ

アシェル・イントレータ

2014年11月14日



忠実さは重要な性質です。神はモーセを「わたしの全家を通じて忠実な者」(民数記 12:7)と表現し、アブラハムが100歳で身体も痩せ細り弱っても忠実であったこと、ヨセフが全ての騙しにあった後も忠実であり、ダニエルとその友たちは処刑されようという時においても忠実でした。

イエシュアのご性格の最も中心を占めたのが忠実さで、もはや彼の第二の呼び名のようです。「また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり」(黙示録 19:11)私たちは彼の似姿となる様に召されており、同様に、忠実さは私たちの中心となるべき性格なのです。

ヘブライ語の語根(単語の原型)AMN (אמן) からは、アーメン(同意)、信仰、忠実さ、信頼性、完全性、道徳的勇気、訓練、指導といった語彙が形成されます。忠実さと信仰には関連性があります。

忠実さとは、信仰が何度も試され証明されたものであり、また、忍耐と試練の時をパスした信仰なのです。信仰が迫害、困難、チャレンジ、誘惑といった過程を通過するとき、忠実さが形成されるのです。

この人生における困難は、性格を確立するための機会と捉えるべきです。「信仰がためされると忍耐が生じるということ...その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは...完全な者となります。」(ヤコブ 1:2-4)。こういったプロセスを経ることで私たちの信仰は精錬され、黄金よりも価値あるものとなるのです(第1ペテロ 1:7)。忠実さとは精錬された信仰で、価値あるもの

なのです。

この人生における忠実さは、次に来たる世においてどのように生きるかを決定するものなのです。『よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんのお金を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。』(マタイ 25:21)。試練にあるうちは、喜ばしいものではありませんが、最後には喜びを生じさせます。

神さまは私たちの才能や、業績には興味がありません。しかし主は忠実な人間を求めておられます。私たちが人生を終える時に、忠実であったと評価されたいものです。私たちが、もう力も知恵もないと感じる時でも、忠実であることはできるのです。

35年もの間共に歩んで来たティクン・ミニストリーズの友人でありパートナーでもある何人か(ダン・ジャスター、エイタン・シシコフ、ダヴィッド・ルドルフ、ポール・ウィルバー)との最近の会合で、もし私たちが共に活動をしなくなったとしても、神の契約、完全性を備えた関係を継続して行き、そのことこそが重要な証しとなることに言及しました。

私たちは超自然的な奇跡、癒し、預言を信じています。また人々が忠実であることも大きな奇跡です。パウロが彼の人生について最後に語ったのは、最後まで「信仰を守り通した」ことでした(第2 テモテ 4:7)。性的なスキャンダルが横行している中、世界は、主に、そしてお互いに忠実である霊的指導者の証しを待ち望んでいるのです。

## 信仰と忠実

### グレタ・マヴロ

ギリシャ語で「忠実な」を πιστός (pistos) と言い、「信仰」を πίστις (pistis) と言います。両方とも同じ語源ですが、二つの異なった語彙です。このことはガラテア 3:9 にはっきりと見ることができ、信仰の人は、忠実なアブラハムを通じて祝福されます。これら2つの語は新訳聖書を全体を通して見受けられます。

しかしガラテア5章にあり、しばしば忠実さと訳されている語は、本来は信仰 πίστις という語彙なのです。元々のギリシャ語の語彙は両方の意味を持っています。この節は正確の特性について語っているため、ある翻訳者たちは忠実な、または忠実さという意味を持ちながらも信仰という語を当てているのです。

第 1 コリント 12 章では、使徒がカリスマタ、聖霊の特別な賜物について話していますが、それは性格でも聖霊の実でもないものです。よって信仰 πίστις はここではより正確に翻訳に使用されています。

## 822 ギャザリング・エルサレム



先週、リバイブのチームがダヴィッド・ドミアンと多国籍のコアチームに率いられた 822 ギャザリング・エルサレムに参加しました。国際会議センターは 3,500 人以上の人で埋め尽くされ、溢れ返りました。大多数の参加者は中国系の人たちでした。822 という名称は、国々が主を求めてエルサレムに集まるというザカリヤ 8:22 から取られています。この集会で多くの実が実るように祈ってください。来週のアップデートで詳細をお知らせします。この聖会の決起大会で、アシェルとアラブのリーダーたちがそれぞれユダヤ人、アラブ人としての傲慢さを悔い改め、謙虚になりました。素晴らしい聖霊さまの開放と、現状打開のための執り成しがありました。

## 反ユダヤ主義、反キリスト、反律法主義

エルハナン・ベン・アヴラハム（引用）



無法性

「不法」という語が法律を犯しているということを表す力を失い、何かそのことを強調し、許容すべ

きものになってしまいました。基本的聖書的なモラル価値観に反抗しようとする運動のなかで、公の場所からの十字架や十戒の撤廃を始め、ユダヤ-キリスト教に関連する一切への反感が高まっています。

### 反律法主義

聖書は、国々にカオスをもたらすところの、このこと(ギリシャ語で「*anomia*」)を終わりの日に起こる情勢として描写しており、多くの人の愛は冷たくなってしまいます(マタイ 24:12)。恵みと律法を対極にあるものとする誤った認識のもと、神の律法を取消そうとする間違っただ神学的試み(反律法主義)は、この無法状態のための基本的な拍車なのです。

### 反ユダヤ主義

新しい反ユダヤ主義(アンティセミティズム)とは、イスラエルから公民権を奪い、略奪するため、暴力的なデモにより世界中の都市やキャンパスで組織されているところの、反イスラエル主義の一形態です。そこには、ほんの小さなユダヤ国家が、絶大な数で凌駕する敵対的なイスラム国家による、終わることのない脅迫に対して、その存在のためにさえ闘っているにも関わらず、侵略的で不可蝕的な国家として描写しようとする普遍的な試みがあるのです。

### 反キリスト

無法状態(*anomia*)と同じ語が、反抗的や、混沌な状態を表し、イエスさまの名前により働いていたと主張したのにイエスさまに知らないと言われた人々(マタイ 7:23)、また第2テサロニケ 2:3で無法者(*anomia*)である反キリストも同様で、どちらも聖書的な神の律法に反抗する存在です。反律法主義と、反ユダヤ主義、反キリストとはお互い、同じパズルにぴったり組み合わさるパーツ同士なのです。